

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2001-117831  
(P2001-117831A)

(43)公開日 平成13年4月27日(2001.4.27)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 C 5 B 0 8 9
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B 5 K 0 3 0
12/58			9 A 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平11-299341

(22)出願日 平成11年10月21日(1999.10.21)

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 岩本 剛

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

シャープ株式会社内

(74)代理人 100079843

弁理士 高野 明近 (外2名)

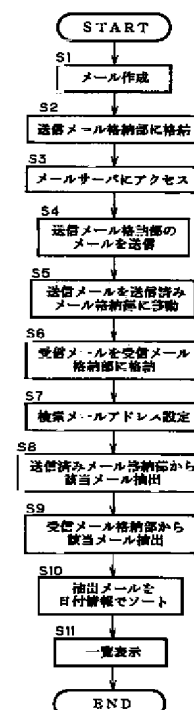
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 メール管理装置及び管理方法

(57)【要約】

【課題】 特定の人物から送信されてきたメールと、そのメールに対応した送信メールも含めて応答をわかりやすく一覧表示する。

【解決手段】 送信メールをメール作成部にて作成し (S1)、送受信管理部中の送信メール格納部に格納する (S2)。メールサーバにアクセスし (S3)、送信メール格納部に格納されたメールを送信し (S4)、送信済みメール格納部に移動し (S5)、受信メールがあれば受信メール格納部に格納する (S6)。特定のメールアドレスに対するメール又は特定のメールアドレスからのメールを検索すべく検索メールアドレスを設定する (S7)。設定された検索メールアドレスに対して送信したメールを送信済みメール格納部から検索し抽出する (S8)。設定された検索メールアドレスから送信されてきたメールを受信メール格納部から検索し、抽出する (S9)。抽出したメールを日付にてソートし (S10)、一覧表示を行う (S11)。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理装置であって、メールを送受信するメール送受信手段と、該メール送受信手段にて送受信したメールを管理する送受信メール管理手段と、特定のメールアドレスを検索条件として設定する検索メールアドレス設定手段と、該検索メールアドレス設定手段にて設定したメールアドレスから送信されてきたメール及び前記設定したメールアドレスに対して送信したメールを、前記送受信メール管理手段にて管理しているメール中から抽出する特定メール抽出手段と、該特定メール抽出手段にて抽出したメールを一覧表示する抽出メール一覧表示手段とを具備することを特徴とするメール管理装置。

【請求項2】 前記抽出メール一覧表示手段が、さらに、日付順にソーティングして表示を行う表示制御手段を有することを特徴とする請求項1に記載のメール管理装置。

【請求項3】 ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理する管理方法であって、メールを送受信するメール送受信ステップと、該メール送受信ステップにて送受信したメールを管理する送受信メール管理ステップと、特定のメールアドレスを検索条件として設定する検索メールアドレス設定ステップと、前記検索メールアドレス設定ステップにて設定したメールアドレスから送信されてきたメールおよび前記設定したメールアドレスに対して送信したメールを、前記送受信メール管理ステップにて管理しているメール中から、抽出する特定メール抽出ステップと、該特定メール抽出ステップにて抽出したメールを一覧表示する抽出メール一覧表示ステップとからなることを特徴とするメール管理方法。

【請求項4】 ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理装置であって、メールを送受信するメール送受信手段と、該メール送受信手段にて送受信したメールを管理する送受信メール管理手段と、送信するメールに対して、そのメールを識別する識別子を付与する識別子付与手段と、前記送受信メール管理手段に管理されているメール中から、特定の識別子が付与されたメールを抽出する特定識別子付与メール抽出手段と、該特定識別子付与メール抽出手段にて抽出したメールを、一覧表示する抽出メール一覧表示手段とを有することを特徴とするメール管理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子メールを送受信することができる情報処理端末、小型携帯端末等に適用されるものであり、特定の人に対して送信、あるいは特定の人から送信されてきたメールを一覧してよくわかるように表示、管理することができる電子メール管理装置および管理方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】メールを用いての連絡、コミュニケーションが普及し、送受信したメールの管理を効率よく行うことが、課題となってきた。これに対し、特定の人から送信されてきたメールを閲覧する場合に、検索条件として発信者に、その人物のメールアドレスを指定して、検索あるいは分類することで、目的のメールを得ることが従来から考えられている。例えば、特開平6-250950号公報に記載された技術を用いれば、予め検索条件と振り分け先のメールボックスを指定しておくことで、メールの受信時に自動的にメールを振り分けて分類することができる。つまり、検索条件として、発信者として特定の人物のメールアドレスを指定しておけば、その人物から送信されてきたメールを、一つのメールボックスに分類することを可能にしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来技術では、受信したメールが利用者の送信したメールに対する返信であった場合に、元の送信メールを見ようとした場合、送信したメールを格納しているメールボックス（送信ボックス）から検索するしか、方法がなかった。すなわち、特定の人とのメールのやり取りを理解するのが困難であった。本発明は、上記課題を解決することを目的としたものであり、具体的には、特定の人物から送信されてきたメールのみならず、そのメールに対応した送信メールも含めて、メールでの応答をわかりやすく一覧表示させることができるメール管理装置および管理方法を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決する為に、本発明は、ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理装置であって、メールを送受信するメール送受信手段と、該メール送受信手段にて送受信したメールを管理する送受信メール管理手段と、特定のメールアドレスを検索条件として設定する検索メールアドレス設定手段と、該検索メールアドレス設定手段にて設定したメールアドレスから送信されてきたメール及び前記設定したメールアドレスに対して送信したメールを、前記送受信メール管理手段にて管理しているメール中から抽出する特定メール抽出手段と、該特定メール抽出手段にて抽出したメールを一覧表示する抽出メール一覧表示手段とを具備することを特徴とするものである。

【0005】また、本発明は、上記抽出メール一覧表示

手段がさらに、日付順にソーティングして表示を行う表示制御手段を有することを特徴とするものである。さらに、本発明は、ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理装置であって、送信するメールに対してそのメールを識別する識別子を付与する識別子付与手段と、該識別子付与手段にて識別子が付与されたものを含むメールを送信するメール送信手段と、送受信したメールの中から前記識別子付与手段にて付与した特定の識別子に対応するメールを抽出する特定識別子付与メール抽出手段と、該特定識別子付与メール抽出手段にて抽出した特定の識別子が付与されたメールを一覧表示する抽出メール一覧表示手段とを具備することを特徴とするものである。

#### 【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を、図面に基づいて詳細に説明する。

(実施例1) 図1は、本発明の電子メール管理装置の第1の実施例の構成を示すブロック図である。この図において、電子メール管理装置1は、ネットワーク等に接続され、メールを送受信するメール送受信部2、送信すべきメールを作成するメール作成部3、メール送受信部2にて送受信したメールを管理する送受信メール管理部4、特定のメールアドレスを検索条件として設定する検索メールアドレス設定部5、検索メールアドレス設定部5にて設定したメールアドレスに対して送信したメールおよび検索メールアドレス設定部5にて設定したメールアドレスから送信されてきたメールを前記送受信メール管理部4にて管理しているメールから抽出する特定メール抽出部6、特定メール抽出部6にて抽出したメールを一覧表示すべく表示制御する表示制御部7、表示制御部7にて制御された情報を表示するLCD等からなる表示部8、キーボード、マウス等からなる入力部9、メールを作成、送信および受信した日付を計時する時計部10、および、図示していないが、前記各部を制御しているCPU、前記各部を制御するプログラム等が格納されているROM、プログラムを実行する為に必要なワークエリア等を格納するRAM等から構成されている。

【0007】送受信メール管理部4は、メール作成部3にて作成したメールを格納する送信メール格納部41、送信メール格納部41に格納したメールをメール送受信部2にて送信し、送信したメールを格納する送信済みメール格納部42、メール送受信部2にて受信した受信メールを格納する受信メール格納部43等から構成され、作成、送信したメールおよび受信したメールがそれぞれ作成、送信した日付、受信した日付でソーティングして格納、管理されている。すなわち、送受信メール管理部4は、メール送受信の機能を実行した時は、送信メール格納部41に格納されているメールを送信すると共に、送信完了となったメールについては、送信メール格納部41から送信済みメール格納部42に移す。また、受信

したメールは、受信メール格納部43に格納する。

【0008】図2は、本実施例に係る電子メール管理装置の処理手順を示すフローチャート図である。上記各部の動きを、図2のフローチャートを用いて説明する。まず、送信すべきメールをメール作成部3にて作成する(ステップS1)。作成したメールは、送受信管理部4中の送信メール格納部41に格納される(ステップS2)。次いで、作成したメールの送信及び新規受信メールの確認を行うべくメール送受信機能を実行する。この時、具体的にはメールサーバにアクセスし(ステップS3)、送信メール格納部41にメールが格納されていれば格納されているメールを送信し(ステップS4)、送信したメールを送信メール格納部41から送信済みメール格納部42に移動し(ステップS5)、受信したメールがあれば、受信したメールを受信メール格納部43に格納する(ステップS6)。ここで、送信済みメール格納部42および受信メール格納部43に格納されたメールは、ユーザが指定の操作で削除しない限り、残っていくものとする。

【0009】次に、ある特定のメールアドレスに対するメール又はある特定のメールアドレスからのメールを検索すべく検索メールアドレスを設定する(ステップS7)。そして、設定された検索メールアドレスに対して送信したメールを送信済みメール格納部42から検索し抽出する(ステップS8)。さらに、設定された検索メールアドレスから送信されてきたメールを受信メール格納部43から検索し、抽出する(ステップS9)。このようにして抽出したメールを日付情報にてソーティングを行い(ステップS10)、一覧表示を行う(ステップS11)。

【0010】図3は、本実施例に係る電子メール管理装置により抽出されたメールおよびその一覧表示例を示す。図3(A)は、送信済みメール格納部に格納されているメールの例を示しており、図3(B)は、受信メール格納部に格納されているメールの例を示している。図3(C)は、図3(A)、(B)の状態で、“yamada@〇〇.co.jp”を、検索メールアドレスとして設定した場合の、“yamada@〇〇.co.jp”宛てに送信したメール、および“yamada@〇〇.co.jp”から送信されてきたメールを抽出し、日付の順にソートした結果を示している。この図からもわかるように、特定のメールアドレスに対して送信したメール、および特定のメールアドレスから送信されてきたメールが一覧表示されるので、それぞれの関連を簡単に把握することができるメール管理装置を提供することができる。

【0011】(実施例2) 図4は、本発明の電子メール管理装置の第2実施例の構成を示すブロック図である。この図において、電子メール管理装置20は、送信するメールを識別する識別子付与部21が追加され、検索メ

ールアドレス設定部5の代わりに付与した識別子を特定する付与識別子特定部22が、特定メール抽出部6の代わりに受信したメール中から付与識別子特定部22にて特定された識別子がついているメールを抽出する特定識別子付与メール抽出部23が、それぞれ置換された以外は、基本的に、図1に記載された電子メール管理装置1と同じである。識別子付与部21は、例えばメールのタイトルの個所に[ID:\*\*\*\*\*]の形式で設定し、\*の部分には、“199907301330”のように日付時刻情報が設定される。

【0012】例えば、図3における送信済みメールの場合には、送信日付とメール作成日付が同じとして、以下のように識別子が付与される。

「△△プロジェクト発足の案内[ID:199908101015]」

「A会議日程変更のお知らせ[ID:199908121520]」

「RE:○×商品用サンプル品手配の件[ID:199908111330]」

「△△プロジェクト発足会(追加事項)[ID:199908130905]」

ここで、上記三番目のタイトル以外は、メールを作成(送信)した日付情報が、識別番号として付与され、上記三番目のタイトルは、送信されてきたオリジナルのメールの作成(送信)日付情報が、識別番号として付与されている。すなわち、送信されてくるメールに対して返信する場合には、識別子付与部21にて付与された識別子は、変更せずに、送信するようになっている。

【0013】ユーザが、送信したメールに対する返事を確認したいといった場合に、送信したメールをタッチするとか、入力部から識別子を入力するとかの方法で、送信したメールに付与した識別子を特定すると、送信済みメール格納部42、受信メール格納部43から、特定された識別子が付与されているメールを検索し、抽出したメールを一覧表示する。この部分に関する処理手順は、図2に記載したフローチャートと基本的に同じであるので、説明は省略する。上記内容にて、複数人に対して送信したメールに対する返信内容が、送信メールと共に一覧してよくわかるように表示させることができるようになる。

【0014】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明によれば、ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理装置において、メール送受信手段にて送受信したメールを管理する送受信メール管理手段と、特定のメールアドレスを検索条件として設定する検索メールアドレス手段と、検索メールアドレス設定手段にて設定したメールアドレスから送信されてきたメールおよび検索メールアドレス設定手段にて設定したメールアドレスに対して送信したメールを、送受信メー

ール管理手段にて管理しているメール中から、抽出する特定メール抽出手段と、特定メール抽出手段にて抽出したメールを一覧表示する抽出メール一覧表示手段とを具備することにより、送信したメールに対する返信メール等、関連付けられているメールのやり取りを簡単に確認することができるメール管理装置を提供することができる。

【0015】また、本発明によれば、上記抽出メール一覧表示手段が、さらに、日付順にソーティングして表示を行う表示制御手段を備えることにより、関連付けられているメールのやり取りを日付順にソーティングして、簡単に確認することができるメール管理装置を提供することができる。さらに、本発明によれば、ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理方法において、送受信したメールを管理する送受信メール管理ステップと、特定のメールアドレスを検索条件として設定する検索メールアドレス設定ステップと、設定したメールアドレスから送信されてきたメールおよび設定したメールアドレスに対して送信したメールを、送受信メール管理ステップにて管理しているメール中から、抽出する特定メール抽出ステップと、抽出したメールを一覧表示する抽出メール一覧表示ステップとを備えることにより、関連付けられているメールのやり取りを簡単に確認することができるメール管理方法を提供することができる。

【0016】そして、本発明によれば、ネットワークを介して、送信、配信されてくる電子メールを管理するメール管理装置において、送信するメールに対してそのメールを識別する識別子を付与する識別子付与手段と、識別子付与手段にて識別子が付与されたものを含むメールを送信するメール送信手段と、送受信したメール中から上記識別子付与手段にて付与した識別子のうち特定の識別子に対応するメールを抽出する特定識別子付与メール抽出手段と、特定識別子付与メール抽出手段にて抽出した特定の識別子が付与されたメールを一覧表示する抽出メール一覧表示手段とを具備することにより、特に複数人に対して送信したメールおよびその返信メールの関連付けがより簡単に確認できるメール管理装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電子メール管理装置の第1実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の第1実施例に係る電子メール管理装置の処理手順を示すフローチャートである。

【図3】本発明の第1実施例に係る電子メール管理装置により抽出されたメールおよびその一覧表示例を示す図である。

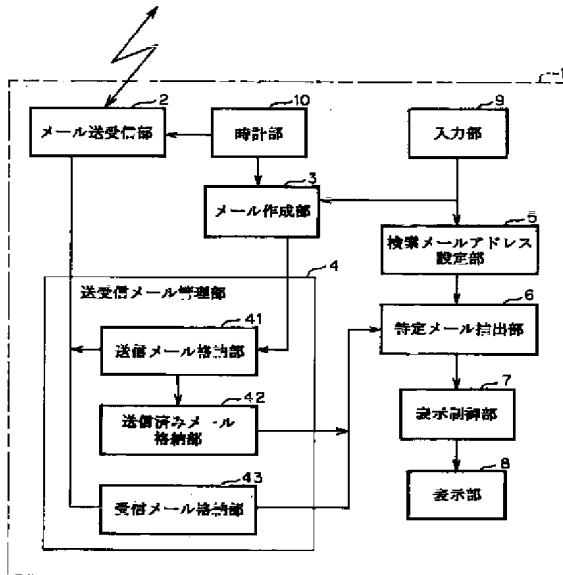
【図4】本発明の電子メール管理装置の第2実施例の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

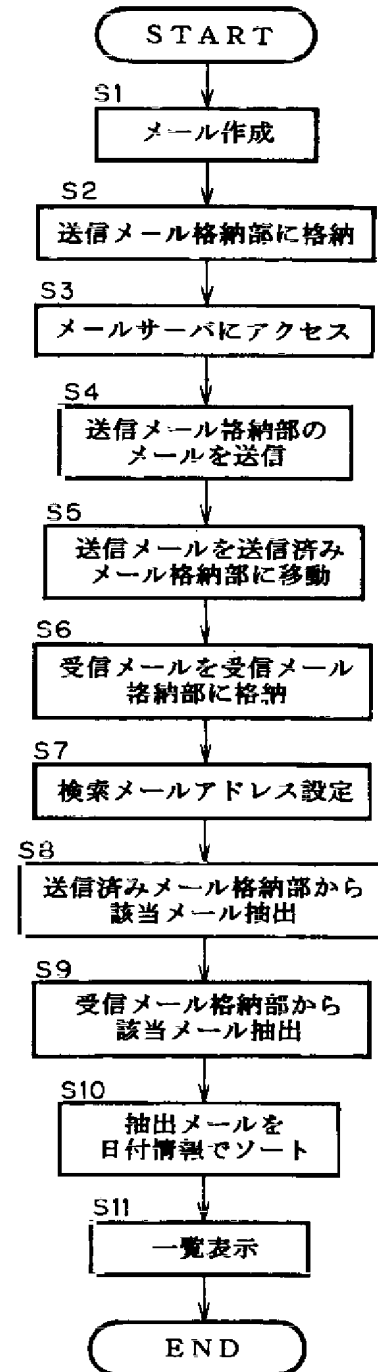
1, 20...電子メール管理装置、2...メール送受信部、  
3...メール作成部、4...送受信メール管理部、5...検索  
メールアドレス設定部、6...特定メール抽出部、7...表  
示制御部、8...表示部、9...入力部、10...時計部、2

1...識別子付与部、22...付与識別子特定部、23...特  
定識別子付与メール抽出部、41...送信メール格納部、  
42...送信済みメール格納部、43...受信メール格納  
部。

【図1】



【図2】



【図3】

【図4】

(A)

送信済みメール

宛先	件名	送信日時
yamada@〇〇.co.jp	△△プロジェクト発足会の案内	'99 8/10 10:15
tanaka@〇〇.co.jp	A会議日程変更のお知らせ	'99 8/12 16:20
yamada@〇〇.com	RE: 〇×商品用サンプル品手配の件	'99 8/12 17:10
yamada@〇〇.co.jp	△△プロジェクト発足会(追加事項)	'99 8/13 9:05

(B)

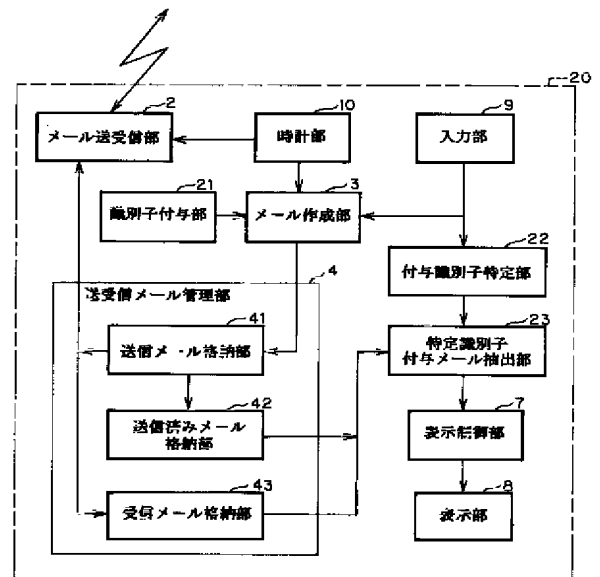
受信メール

送信者	件名	受信日時
yamada@〇〇.co.jp	RE: △△プロジェクト発足会の案内	'99 8/11 18:00
yamada@〇〇.com	〇×商品用サンプル品手配の件	'99 8/11 13:30
tanaka@〇〇.co.jp	RE: A会議日程変更のお知らせ	'99 8/12 16:40
yamada@〇〇.co.jp	RE: △△プロジェクト発足会(追加事項)	'99 8/14 10:00

(C)

上記送信済みメール、受信メールから“yamada@〇〇.co.jp”を  
検索対象アドレスとして検索、抽出し、結果をソートしたもの

送信／受信	件名	送受信日時
送信	△△プロジェクト発足会の案内	'99 8/10 10:15
受信	RE: △△プロジェクト発足会の案内	'99 8/11 18:00
送信	△△プロジェクト発足会(追加事項)	'99 8/13 9:05
受信	RE: △△プロジェクト発足会(追加事項)	'99 8/14 10:00



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA11 GA25 GB04 HA11 JA31  
 KA02 KA04 KB06 KB11 KC44  
 KC53 LB15  
 5K030 GA18 HA06 HD09 JA10  
 9A001 BB02 BB03 BB04 CC02 DD10  
 FF02 FF03 HH33 JJ14 JZ72  
 KK56